

## 春本番！佐野ふるさとガイド始動



名水をイメージした青の制服

「観光ボランティアガイド協会」があることをご存知ですか。

佐野市の歴史、文化、自然を学び、訪れたお客様に、観光案内を行うグループです。

店網一夫会長（植野町）を中心に結成されて1年。平成20年6月より研修を重ね、佐野市を熟知した精鋭28人が、今春、本格的に活動を開始しました。

今年1月、厄除け大師の参拝者でにぎわう物産会館での観光ガイドを皮切りに、かたくりの花の時期に合わせて3月には、佐野駅自由通路で観光情報などをお客様にお伝えしました。

これからも、おもてなしの心を大切に、佐野市のPR活動を続けていきます。

（市民記者  
吉井 貴子）



講座終了式後の記念写真

## さの演劇塾「遺産らぶそでい」公演



上演された劇の一場面

2月20日・21日、文化庁支援事業「文化芸術による創造のまち支援事業」である市民劇団「さの演劇塾」の公演「遺産らぶそでい」が、葛生あくとプラザで上演されました。

この市民劇団「さの演劇塾」の公演は、昨年に続いて2回目で、初心者・経験者からなる受講生が、プロの俳優さんたちの指導を受け、約7カ月に渡って稽古してきた成果を披露したものです。公演を楽しみに駆け付けた方たちは、最後まで席を立つ人もなく、塾生たちの素晴らしいお芝居に、惜しめない拍手を送っていました。

観覧していた高校のALT(外国語指導助手)の方は「私の国は、人種・部族間で争いが絶えません。今日のような舞台を見て、争いが無意味であることに皆気付いて欲しいです。このお芝居は、とてもハッピーで楽しい舞台でした」と話してくれました。



舞台後、挨拶する塾生の皆さん

## 男女共同参画講演会開催



講演中の浜教授

3月6日、城北地区公民館で「市制5周年記念・男女共同参画講演会」が開催されました。

これは、あらゆる人たちが平等である社会作りのため、男女共同参画を推進している「男女共同参画ネットワークさの」と市の共催で行なった講演会です。

この日の講師は、同志社大学大学院の浜矩子教授。「これからどうなるグローバル経済と日本」という演題で、現在の日本の経済状態を通して、男女共同参画の現状、これから目指す道を分かりやすく講演していただきました。参加者は、講師の話をもとに取ったりしながら、みなさん真剣に耳を傾けていました。

また、講演会の前には、生涯学習フラサークルの皆さんによるフラダンスが披露され、その優しい踊りで会場内を魅了してくれました。



会場を魅了するフラサークルの皆さん

## 唐沢山城跡の発掘現場見学会開催



発掘現場を見学する参加者

2月27日、唐沢山城跡の発掘現場見学会が開催されました。

これは、国指定の史跡化に向け調査を進めている唐沢山城跡の発掘調査成果と重要性を理解いただくために、佐野市教育委員会が行ったものです。

市内外から山城ファンら約250人が集まり、根小屋地区から発見された「隼人屋敷跡」の石垣や曲輪、新しく発掘された「御台所」などを見学しました。職員の説明に、皆さん興味深く聞き入っていましたが、なかでも「どうして大きなお山のお城から、小さな城山に移ったんだろうね」と、お母さんに尋ねる親子の様子が印象的でした。

午後には、「戦国騒乱のなかの佐野氏」を演題に、駿河台大学准教授の黒田基樹さんによる講演会が行われ、大勢の歴史ファンが、佐野市の戦国期の話に熱心に耳を傾けていました。



参加者で一杯の講演会

## 第3回さの子育て応援広場開催



学生さんたちによる素晴らしい舞台

2月26日(金)、文化会館で第3回さの子育て応援広場が開催されました。

佐野市と佐野短期大学は、地域福祉の向上と地域の活性化を目指し、さまざまな事業を共同して展開しており、このイベントも地域連携事業の一環として行われました。

たくさんのお子どもたちがつめかけた大ホールで、児童福祉専攻のみなさんが、楽しいステージを通じて、子育て環境の充実などを呼びかけました。

こども番組で人気の「ばわわぶたいそう」や「うたをうたおう」「オペレッタ(創作音楽劇)・赤リボンちゃん」などが、次々と繰り広げられ、学生のものとは思えないほど質が高く、目を見張る出来栄でした。

子どもたちは、ステージへ拍手や歓声を送りながら、学生さんたちからのメッセージをしっかりと受け取っている様子でした。



歓声を送る子どもたち

## 市長からの

### メッセージ



4月は、入学式や入社式などがあり、慌ただしくも胸ふくらむ希望の季節です。木々も黄緑色に生き生きと染まり、山々に桜が美しく咲き誇っています。

先月の市議会において、平成22年度予算を承認していただきました。一般会計約409億7千万円のほか、各特別会計・公営企業会計など、総合計画の中期基本計画に沿った予算編成としました。今後も、厳しい財政運営が続きますが、市民生活の向上と安全で安心のまちづくりのため、精一杯努力してまいります。

先月22日には、若松アンダーが完成し、市の東西交通の渋滞緩和が期待されます。また、26日には国道50号線の6車線化が完成し、28日には岩崎バイパスの一部が開通しました。佐野サービスエリア・スマートICおよび佐野田沼インター周辺開発事業も順次進めていく予定です。また、今月17日には、念願の北関道・佐野田沼ICが開通し、「高速交流拠点都市」のスタートとなります。開通した道路をたくさんの方に利用してもらい、佐野市の活性化につなげていこうと思います。

先月初めに、東京駅で観光キャンペーンを行いました。佐野市のPRと渡良瀬ストリームの販売促進をお願いしてまいりました。佐野市をご存じの方も多くいて、「佐野市」もだいぶ名前が売れてきたと感じました。観光立市実現のため、佐野の持つ観光資源をもっと発掘し、観光サービスの向上とおもてなしの体制をもっと充実させなければと思っています。市民の皆さんも、機会があれば、市外からのお客さんに温かい気持ちで応対をお願いします。

平成22年度がスタートしましたが、体調に注意して、1年間頑張ってくださいませよう!

岡部正英